

平成27年度 新居浜市廃棄物減量等推進審議会議事録

- 1 開催日時 平成27年7月14日(火) 10:00~11:20
- 2 開催場所 新居浜市役所 本庁舎3階 応接会議室
- 3 出席者 (委員) 稲見 武仁、毛利 賢治、井田 仁美、日野 幸彦、坂上 公三、
今村 美鈴、佐伯 弘子、菅 敏子、野村 佳代子、眞鍋 昌裕、
永易 弘三、池田 悦子、豊田 康志 (計13名)
(市) 伊藤環境部長、曾我環境部次長兼ごみ減量課長、神田ごみ減量課副課長
- 4 欠席者 (委員) 佐伯 美鈴、飯尾 和之、小野 茂樹(3名)
- 5 部長あいさつ
- 6 委員紹介
各委員、事務局順に自己紹介
- 7 会長、副会長選出
眞鍋委員より事務局一任との発言があり、事務局にて提案し、会長に日野委員(新居浜市連合自治会)、副会長に野村委員(新居浜市女性連合協議会)が選出された。
- 8 会長・副会長あいさつ
- 9 議事
(日野会長)
それでは、本日の議題に移ります。
お手元の資料「新居浜市のごみ処理状況」について、まず、1の「ごみの排出状況」から3の「家庭系ごみの手数料について」までを事務局より説明をお願いします。

(事務局) 説明

(日野会長)
ありがとうございました。今の説明に関しまして何かご質問等ございますか。

(永易委員)
剪定ごみとか、草を引いたものは、各家庭で2袋まで出していいよ、となっていますが、この統計の中に、燃やすごみとして入っているのですか。

(事務局) はい、そうです。

(永易委員)

燃やすごみの中に剪定枝、雑草の比率は分からないのですか。手分析でいろいろされている中で、集計しているその他の中に入りますか。燃やすごみの中で、剪定ごみ、雑草はいかほどですか。

(次長)

燃やすごみは、収集時に剪定くずも雑草もすべて一緒に積み込み、まとめて処理しておりますので、燃やすごみの中に入られる剪定くず、雑草の区別はつきかねます。持込ごみについても、剪定枝の幹が太くて破砕が必要なものは計量しておりますが、小枝、雑草については他の燃やすごみといっしょに処理されておりますので、どれくらいの量があるかは、わかりません。

(永易委員)

私の感触としては、結構多いんですね。時期にもよりますが、草引きしたごみは結構ありますよね。私はこの量が、このごみは下げられるんじゃないかと思うのですが。何かうまいシステムを作ればいいんじゃないかと思い質問したのですが。

(真鍋委員)

2 ページの資料(4)の燃やすごみの定義がおかしいんじゃないの。燃やすごみの組成調査の中に、剪定枝、雑草は入ってないんでしょ。その他に入っていますか。

(永易委員)

分別して調査する時に入ってなかったらおかしいんじゃないの。

(次長)

ごみステーションに出されたごみ袋を調査しておりますが、組成調査については、すみませんが剪定枝、雑草はあらかじめ除いております。

(永易委員)

2 ページの下の表には雑草は入ってないということですか。

(次長)

はい。そうです。

先日、今年度の調査を実施したのですが、私は初めて調査に参加したのですが、集団回収に出せる新聞紙はもちろん、包装紙やお菓子の箱などが燃えるごみに入っています。その分が古紙にまわれば、燃やすごみが減るといった感じがします。今年初めて実施した結果、一番思いました。

(日野会長) 他にありませんか

(野村委員)

まず、1ページの方ですけども、家庭ごみの収集は717トン減っていますよね。家庭の持ち込みごみが35トン増えて、事業所のごみが440ぐらい増えているんですけど、家庭ごみは全体で減っているとみていいんでしょうか。古布とか、古紙とか分別されたため減ってきているのか、そのへんがよくわからないのですけど。

下のグラフの1人1日当たりのごみ量は、県や全国平均より100g ちょっと多いのですが、上のグラフからみると、事業系ごみが増えているので、相変わらず100g ぐらい一人当たりのごみ量が多いとみていいのかどうか。

それから、2ページの(4)の燃やすごみの分別ですが、正しい分別を啓蒙していけば、さっき言われた、古紙であるとか、古布とかそういうのは、減っていくのではないかと思いますので、啓蒙を継続していくのと、先ほど事務局の方が説明されました、食品は使い切るということを念頭においてやっていったら、生ごみも減っていくのかなとも思うのですが、とりあえず、ここままで、説明をお願いします。

(次長)

まず、人口が減っているということがあります。ごみ量は減っておりますが、一人当たりになりますと、ごみ量が減っていない、むしろ少し増えている状況です。

(野村委員)

事業系ごみというのは新居浜の場合、どうしようもないのでしょうか。

(次長)

事業系ごみについては、現在、100kg800円ですが、前は100kg420円でした。平成20年に料金改定したのですが、その時はかなりごみ量が減りました。事業所としても、経費がかかることですから、分別をして出されたりしたのではないかと思います。前回の料金改定から7年がたっておりますので、他市の状況等を検討しながら、料金の変更も考えたほうがいいんじゃないかということで、見直しについて、現在考えております。

(野村委員)

もう少し、値上げするということですか。

(次長) そうです。

(野村委員)

すみません。あと、資料5ページの長期的な計画の中で、減量目標の事業系の剪定ごみ・木くずは100%減量できるのですか。何か、別な処理方法とかあるのでしょうか。締め出しですか？

(次長)

なかなか難しいことですが、この統計というのは、これは清掃センターで処理するものについ

てということなので、業者が行う剪定は、産業廃棄物ということで、民間業者に持ち込みされている分もあります。実際はどこまで減るかということですが。

(野村委員)

もっていくところが、あるのですか。それは市外ですか？

(次長)

はい、あります。市外にありますが、全部そうするのは、難しいかと思えます。

(豊田委員)

みなさんおそらく、ご存知かもしれませんが、分からないので、教えてください。

ごみ量の推移の中で、平成19年から平成20年は極端にごみ量が減っていますが、おそらく何か施策を打たれたのかと思うのですが、施策はなんだったのかということと、事業系ごみの話がでましたけど、料金も含めて、他市からの持ち込みがあるのかな？というのが1点。最終的な課題になるかと思いますが、5ページ目の中で目標数を掲げられておりますが、おそらく、課のほうで、この10年間で減量目標に向かって施策を打っていく、この審議会で皆さんの意見をいただいて、参考にするということもあるのでしょうか、逆に課の中でこういった施策を打っていこうという、現実的な施策はお持ちなのでしょうか。

(次長)

まず1ページ目の19年から20年のごみ量が減った件ですが、まさしく先ほど言いました、事業系ごみの単価の改定でございます。2つ目、事業系ごみ他市から入っているのではないかとございまして、清掃センターへ事業系ごみを搬入する場合は、産業廃棄物は当然ダメですけど、事務所で出た少量のごみなどは直接搬入することができますが、搬入許可証を持っている事業所、また、事業系ごみは新居浜市の搬入許可業者なら許可証がありますので、清掃センターへ搬入する時に分かります。

(豊田委員)

新居浜市の許可業者が他市のごみを持ってきても、OKということですか。

(次長)

それをすべて調べるのは難しいですね。家庭系ごみについても同様のことが言えるわけですが、家庭ごみの持ち込みについては、自家用車で持ってきます。受付で車のナンバーが県外でも、片付けの手伝いに来たと言われれば、市内のごみとして受け入れしています。また、家庭ごみは無料なので、他市から持ってこられても、新居浜市のごみとされているものも、あるかもしれません。3点目としてごみ減量課で取り組んでいることですが、市の施策としては、生ごみの減量としてダンボールコンポストに取組み、また講習会もしています。環境市民会議の方に御協力していただいておりますが、去年はダンボールコンポストは1,000弱くらい利用されました。それまでは、コンポストの普及をしておりましたが、効果がでてきているのかなと思います。

今年度も公民館の協力を得て、連合自治会の方でチラシを配り、講習会を開催しております。また、新居浜市役所で古布・衣類、天ぷら油の回収を行っております。この4月に異動してきて、たくさんの量があり驚きました。2つボックスを置いていますが、すぐいっぱいになる日もあります。天ぷら油についても、バイオディーゼル燃料としまして、精製して車の燃料として使用しておりますが、給食センターの配送車やごみ減量課のパトロール車に使用しています。車の機種によって合わない場合もあるようです。地道に啓発し、取り組んでいっている現状でございます。

(豊田委員)

今、この資料のなかで、なぜ減ったかというのは、事業系ごみの料金を値上げしたからということで、最大の効果があったということを見ると、私ども議会で、大型ごみの有料化について平成13年に6月議会に上程させていただいて、継続審議となって撤回されたわけですが、最終的な大きな目標、減量化に向かっていくわけで、今現実的には、事業系ごみの手数料を若干上げようかなということを検討されているようですが、最終的に効果があがるのが有料化なんだということが結果として出た場合に、最終的に市民のごみの有料化の方に目指す方向にならないように、極力、資料も提示していただき、こういう場で審議していただけたらいいなと思います。

(日野会長) 他にありませんか

(佐伯委員)

私は主婦として日頃心がけていることは、雑草を引いたものは、そのまま袋に入れて捨てるのではなく、コンクリートの上で2〜3日干してから捨てます。干せばすごく量が減ります。生ごみは手で絞って水を切るようにしています。ちょっとしたことですが、ごみを減らすことになるのではないのでしょうか。

(次長)

清掃センターの方も含水量、つまり生ごみの水分は燃やす効率が悪くなりますので、皆さん一家庭一家庭が気をつけていただくと、大変助かります。

(日野会長) 他にありませんか

(菅委員)

ちいさな古紙は紙袋に入れて出しています。生ごみもコンポストを利用しています。私の周りの人たちは気をつけているのに、なぜ新居浜市全体のごみが減らないのか不思議なんです。どうしてごみは減らないのでしょうか。何が原因なのでしょう。

(次長)

方法としましては、「ごみ」とするのか「資源」とするのか、今「ごみ」としているものをいかに「資源」へ回していくのか一番大事なのではないかということ、組成調査で思いました。分別も大事なのですが、ごみの中にプラスチックが入っていたり、お酒のびんが入っていたりします。

まだ、分別ができていない方もいます。一番難しいのがプラスチック包装じゃないかと思います。再生利用できるプラスチックにまわせるものですが、汚れていたら燃やすごみでもいいよというのがあるものですから、もう少し周知していけばいいのですが、周知自体が難しいですね。

(真鍋委員)

みなさん、家庭から1割ごみを減らすとしたら、何を減らしますか。

(菅委員)

やっぱり、紙が多いですね。こういった資料の紙もですけど、しばらく置いておいて、紙ごみとして出します。生ごみは畑に埋めたりしています。面倒ですけど、セロハンがついているような封筒もセロハンを剥いだり、ティッシュペーパーの箱もナイロンを剥いで紙ごみに出しています。生ごみの中にそういう紙ごみははいつているように思います。プラスチックですが、汚れたものは燃やすごみに出していいというのが出てから、燃やすごみがすごく多いんですよ。

(佐伯委員)

汚れたプラスチックは燃やすごみに出していいということで、ごみの中に多いです。

お湯でさっと洗って出せばいいんですよ。汚れているものは燃やすごみで出していいと言われたから、このごろ燃やすごみが増えてきています。

(真鍋委員)

プラスチックごみも全部選り分けて、きれいなものだけリサイクルして、あとは燃やしているんです。プラスチックごみが減ったから可燃ごみが増えていますが。

(日野会長) 他の方で、何かありませんか

(今村委員)

可燃ごみにシャンプーのボトルみたいなものが入っていたのですが、「分別ができていません」のシールが貼られて取り残されていました。大きなものじゃないのに。なぜ、分別ができていないと取り残されたんでしょう。これは、燃やすごみで出したのでいいんでしょう。きれいに洗っても再生の方は、難しいのでしょ？

(次長) プラマークはついていましたか？

(今村委員)

袋をあけて中までよく、見ていませんが、これは、いつだしたらいいんでしょうか。

(真鍋委員)

容器包装というのが、まだ市民の中でよく理解されていないのしょう。可燃ごみの中に入れてもかまわないのと思うんですけど。

(今村委員)

中を開けて見てもないのに「分別ができていません」ってシールをペタッと貼って、その場におつたら、言うんですけど、ちょっと交通整理をしていたもので、その間に来て、残されたもので・・・次の時に出して、収集車の方に聞いてみようかなと思って、ごみを引き上げてきているんですけど。みなさん、分別ができていないんですよ。ペットボトルが一本入っているだけでも、「分別ができていません」ってシール貼られて燃えるごみの時に残されるんですよ。だれか、ごみの時に出てきてくれて、分けてくれたらいいんだけど、と思うのですが。分別ができてないですね。

(日野会長) 他に意見はないでしょうか。

(真鍋委員)

みなさん言われたことの他に、お店での包装を減らすことなどがありますが、先日の環境学習講座の松田さんのお話では、あの方は、横浜でしたか、横浜では有料化したらごみが減ったと言っていたが、減らない。

松山や京都も有料化しました。ごみが減りました。何が減ったのですかと問い合わせしたら、何が減ったのかよくわからないと。そういう集め方をしてないから。減ったのは、事業所ごみ。間違いないです。それ以上に減ったのは、入るものを分析してないから、わからんです。

事業所ごみが減ったから、統計的にごみが減っているだけ。有料化と同時に事業所ごみをシャットアウトした、だからごみが減ったというのだけれど。だから、新居浜市でも事業所ごみをシャットアウトしたら減りますよね。だけど、大事なものは、家庭ごみがどれだけ減るか。有料化は関係ないので、今、家庭で有料化されたって、ごみ袋一枚80円だと言われたって、何減らしますか？有料化と言ったって、お金かけるだけで、ごみを減らすのは難しいでしょう。

松田さんの市ではどう取り組んで、有料化したら、何がどう減っているのかをデータをもらって分析して、本当に減っているのだったら、皆で研修に行くのはどうでしょう。そういうふうに見てみませんか。何かわからんまま減ったと言って、有料化したって何にもならない。

事業ごみの手数料だって資料にあるように、トン8,000円で実際は23,400円かかっているわけで、これはあまりにも違いすぎる。値上げしたらどうなんでしょうか。

(次長)

経年調査をして、検討していきます。

(真鍋委員)

5ページ目ですが、10年先の目標ですが、減量目標の達成のために、具体的に何か計画を立てないと。今、生ごみのダンボールコンポストをやっていますが、今まで年200個ずつぐらい出ていました。これを、毎年、これぐらいずつ出していくこと。また、資源ごみの集団回収などもほとんど増えていないですけど、これを、毎年目標を立てて、ごみを減らすような策を。すべての自治会さん入ってください、と依頼状を出すとか、なんか具体策をして毎年の年単位の目標を設定すること、そういうことをやられたらどうですか。

それから、草とかね、川浚いの土とかコケのあれ、調べてもらえました？

(次長)

申し訳ありません。まだ調べておりません。

(真鍋委員)

あのコケは可燃なのか、最終処分場へ行っているのか。そのあたりで、ごみ量も違ってくるのかなと思いますけど。

家庭ごみは減っているように思いますが、ダンボールコンポストも千個配ったって世帯の1%。せめて1割にならないと、ごみが減ったと言えないですね。今、新居浜市では5万世帯ありますが、5千個配らないといけない。毎日5千世帯が生ごみを処理するようになったら、ごみは減るのではないかと思います。何か、具体的なものか見えてきたらいいかなと。とにかく、言いたいのは、具体的な目標数値を立てましょう。以上です。

(日野会長)

そうしましたら、先生、資源ごみの集団回収のことがありましたが、学校での取り組みはどうですか。昔と比べて減ってきたりしていますか。

(稲見委員)

私は中学校ですけど、月1回、生徒会中心で資源ごみの集団回収を実施しています。年間の行事予定に入れていきますので、各家庭もよく協力してくれています。量的には手元に資料がございませんが、回収量としては、数年横ばいではないかと思います。生徒会が中心で頑張っており、本当に各家庭がよく協力してくれますし、次はいつですか？という問い合わせもあったりします。油も集めておりますが、結構持ってきてくれて、学校給食課の方が定期的に持って帰ってくれるのですが、これも本当にすぐ集まるなあという感じです。協力はよくしてもらっています。

(日野会長)

値段の方はどうですか。

(稲見委員)

値段の方は、年4回以上ということですが、学校は年10回以上やっています。市から補助金をもらっていますが、やったから、大きな利益があるというほどではないです。

(次長)

資源ごみの集団回収ですが、現在192団体登録していただいています。ところが、同じ地域で、学校、自治会、老人会、スポーツ少年団などがそれぞれ資源ごみの集団回収を実施しており、量が増えずに分散しているのではないかと感じます。各地域というか、校区で、ある程度まとめてしていただき、補助金を分けるという風にするのは難しいかもしれませんが、今月は老人会、今月は自治会と決めて、ごみに出さずに資源ごみの集団回収に出していただくように周知するなどしたらいいのではないかと思います。

(真鍋委員)

ごみ減量課さんは、そういうふうに言いますけど、老人会なども元気がなくなっているの
で、この地域はこことここがダブっているとか、あいまいな市全体のことを言っても解決になら
ないので、集団回収については、もっと分析してほしい。もっと出しやすくするとか。

(日野会長)

自治会での取り組みはどうですか。

(坂上委員)

各自治会でも老人会、子供会、愛護会など、私は宮西校区ですが、うちの自治会は年12回、
毎月決まった日にやっています。老人会は2ヶ月に1回とか。こうやっても、量は減っています
よ。老人会はいつと決めていても、自治会は協力しています。自治会でいつと決めてあげたら
いいんじゃないですか。

それから、家庭ごみの有料化ですが、10何年前からでておりますが、答申や撤回や、行政と
しては、進み具合はどうなのですか。先送り決定で、平成20年からそのままになっているよ
うなのですが。これから行政として何か考えはありますか。

(次長)

現在、ごみの量は減少か現状維持の状態です。いろいろ議論する中で、高いごみ袋を使うので
はなく、現在もごみ袋は家庭で買われていますよね。高いごみ袋を買っていただくのか。目的自
体はごみを減らすことですので、ごみ袋を有料化して、本当にごみが減るのかというところ
です。いまのところ、ごみ量が横ばい状態でありますことから、そのあたりを見定めながら、考
えております。

事業ごみの手数料の値上げについては検討しておりますが、資料にありますように、直接清掃
センターに持って行っているごみが多いんです。このごみは定期収集に出せるものが多いので
すが、定期収集に費用をかけている、清掃センターに持ち込めばセンターの職員の費用もかかると
いうことで、効率としてどうなんだろうということで、検討しているところでございます。

(日野会長) はい。他にないですか。

(真鍋委員)

最後に一つ。予算額というのは、ごみ減量課サイドから言っているわけですが、ごみ処理費用
としては、15億円ぐらい使っているわけで、ごみが減ったら使った費用に見返りがあるわけで、
その辺も考えないと。

天ぷら油などは、どれくらい収入がありましたか。古布も収入があるわけでしょ。

(日野会長)

他にないでしょうか。それでは、続きまして、4の「平成27年度のごみ減量事業」につい
て事務局より説明をお願いします。

(事務局) 説明

(日野会長)

事務局より、説明がありましたが、何かご意見やご質問はございませんか。

(真鍋委員)

レジ袋削減推進協議会に関わり、無料配布中止を推進してきた立場からお話ししますが、「レジ袋を販売して、スーパーが儲けているだけじゃないか」という方がいらっしゃいますが、「レジ袋削減推進協議会」の協定により、寄付をいただいていることを認識しておいてください。

また、下のところにあるように、ごみ袋として使うのだから、有料にされたら困るじゃないかと言われて反論されますが、この調査で分かるように、廃棄されるものが圧倒的に多いです。

無料配布中止にして、よかったと私は思いますけど。もし、批判があったら、そういうことでお見知りおきください。

(日野会長)

はい、わかりました。他にないですか。それでは、「その他」として何かありませんか。

(野村委員)

質問ではありませんが、今日の会の内容を聞いていて、この間の講演会の話でもありましたけど、今までは、ごみを減らす、ごみの減量を周りの方に広報してきたつもりですけど、ごみを減らすと言うこと以前に、「ごみを資源にする」というキャッチフレーズではないですけど、イメージを作ることが必要ではないでしょうか。減量よりも、資源に出来るものは資源にするよう啓蒙してはいかがでしょうか。

(日野会長) 他にないでしょうか。

(真鍋委員)

資源化するのには、細かい分類をして、業者にひきとってもらうのですが、家庭でできるのは、生ごみのたい肥化しかないんです。燃やすことはできませんよ。熱効率は悪いですから。

発酵させて肥料にして土に返す。それが、家庭でわれわれができるやり方。いろいろな道具を修理して使う転用するということがあります。家庭ではなかなか難しいでしょう。

できるだけ、細かく分類して業者に引き取ってもらい、資源にするのが一番有効だろうと思います。

(日野会長)

もうひとつ、私の方から構いませんか。

校区懇談会では、ごみの有料化もありますが、ごみステーションの方が問題になっています。管理をしているのは自治会なんです。あるいは、熱心なところは、隣近所の人。自治会によっては当番制にしています。自治会加入率が若干低下してきているんです。その人たちが、自治

会に入っていない人がポットごみを置いていく。それが分別ができていないことが、結構多いんです。その処理ですが、収集車がとって帰ってくれない、今村委員さんが言ったように、持って帰ってまたそれを処理したり、今から夏場になりますと、そこらあたり臭いんですよ。そこで、近所の人水洗いをしたり。行政はですね、こういったら行政の批判になるんですが、ところによっては、ステーション方式といいながら、軒並み出して回収しているところもある。今から暑くなって、生ごみは、ねこやカラスに荒らされます。そうしたら、近所のひとから何とかしてくれとなる。自治会役員は掃除せないかんのかと。行政もそういうことをもうちょっと考えてほしい。どこの校区でも問題になっておるのですから。

真鍋委員さんが言われるように、有料化してもごみは減らないのではないかという問題ですが、私もそう思うのですが、6ページに書いてありますように、豊田委員さんが言われたようにですね、13年度から議会で審議されそして、20年の10月にですね、本来は市長さんがやると、選挙でやると公約に掲げてですね、やる予定であったんですが、いろいろなことがあってやめた、といういきさつがあります。そこらも含めてですね、真剣に考えていかなければならない状態にあるのではないかと、私の意見として参考にしていただけたらと思います。ありがとうございました。よろしくお願いします。

(部長)

すみません、会長さん構いませんか。

先ほど、会長さんの方からステーションのお話ありがとうございました。参考までに申し上げますが、新居浜市の家庭ごみの収集につきましては、ステーション方式といいまして、1カ所に集めて収集しておりますが、今現在、新居浜市には4,400ヶ所ぐらいのステーションがございます。これにつきましては、会長も言われたんですけど、非常に古くからのごみステーションで、どこが管理しているのかわからないステーションも現実にあるんですけど、古いステーションでは、1軒隣りにごみステーションがあるような所もございます。私どもの方にも、いろいろ自治会から、ステーションにおいては自治会管理で、人も入って手をかけているので、何らかのかたちで自治会へステーションの金銭的な補助も要望がございますが、そういう中で、先ほど申し上げました、4,400ヶ所は本当に必要なステーションなのか、統廃合ができないのか。もう一つは、自治会管理とはいいながら、古いステーションは本当に自治会で管理しているのか、地域の人が自治会管理ではなくて、そこへごみを集めていたのか、不明確なステーションもございますので、今年度そういったごみステーションの管理実態を調べていくということを考えております。

その中で、またそれぞれの自治会さんや団体さんにステーションの管理について、また、お願いすることもあるかと思えます。会長さんからごみステーションの話がでましたので、お願いと予定ということで、お話させていただきました。

また、その節はいろいろとお世話になりますけども、よろしく申し上げます。

(日野会長)

はい、わかりました。

この2月、ごみのことでいろいろありますので、連自治会で研修に行っていました。ある自治会がステーション方式をとっているということで、九州の方へ研修に行きましたが、自

治会内のごみを1カ所に集めていました。小屋を建てて鍵もかけて、ごみを捨てる時だけ鍵をあける。自治会ですごくお金がかかるんです。自治会が当番でごみを集めるんです。特に、高齢者でステーションまで持っていけない人の分は、自治会がお金をもらって持って行く。本当に市民の方が大変なんです。これには行政はほとんど対応してないです。市民や自治会に、ものすごく負担があるんですよ。その自治会は、病院へ連れていくのも市の許可を取って、自分たちの車で、タクシーより安くして連れて行ってあげる。高齢者からお金をもらって、何人も乗せて行ってあげる。そうすることによって、成り立っている自治会もある。そこまでやってもいいのかなあとも思いますが。先ほどあった、松田さんが言れたことも、関係しているんじゃないかと。確かに、市民がお金をどんどん負担している。九州に行きまして、これは、住んでいる人は、本当に大変だなあというような感じでございました。世の中お金がなげりゃいかんのかと感じました。若い人は自分で車を運転してどこでも、病院でも行けますが、高齢者はお金がないと大変です。

行政の方も、そういう点、お金のことじゃなくてステーションのことも含めて、先ほど部長さんが言われたようにお願いできたらと思います。

そうしましたら、他にないようでしたら、これで終わりたいと思います。

それではみなさん、大変ご苦勞様でございました。時間もちょうど11時30分までの予定でしたが、現在20分でございます。ちょっと早いですが、皆さんの御協力によりそれでは、これを持ちまして終わりにいたします。ありがとうございました。

(次長)

本日はありがとうございました。会長さん、副会長さんありがとうございました。また、委員のみなさんにはいろいろとご意見をいただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。本日は、どうもありがとうございました。